

## 第4回通常総会議事録

### 1. 日時および場所

平成21年8月23日（日）12時～13時15分

国立京都国際会館 Room A（京都市左京区宝ヶ池）

### 2. 正会員数

1,905名

### 3. 出席者数

1,436名（うち委任状出席者 1,246名）

### 4. 議題

- (1) 議長及び議事録署名人選出
- (2) 代表理事挨拶
- (3) 会員数報告
- (4) 平成20年度事業・決算報告
- (5) 同年度監査報告
- (6) 常設委員会・部会・ワーキンググループ報告
- (7) 平成21年度事業・予算について
- (8) 3学会合併による解散決議について
- (9) 平成21年度学会認定後期研修プログラム・専門医の紹介
- (10) その他

### 5. 議事の経過及び結果

- (1) 議長及び議事録署名人選出

議長の選任について諮ったところ、副代表理事の竹村洋典氏より立候補があり議場に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、竹村洋典氏はこれを了承し議長に就任した。議事録署名人は、山田隆司氏、葛西龍樹氏が選任された。

- (2) 代表理事挨拶

山田代表理事より、挨拶とともに三学会合併の進捗状況について簡潔に説明があった。

- (3) 会員数報告

山田代表理事より、2009年3月31日時点の会員数は1,931名であったことが報告された。

- (4) 平成20年度事業・決算報告

山田代表理事より、当法人の昨年度の事業報告および収支決算書について説明があり、平

成 20 年度末の正味財産は 5,511,839 円であったことが報告された。

(5) 同年度監査報告

亀谷監事より 8 月 8 日に山本監事とともに事業会計収支計算書の詳細について領収証及び口座の通帳を細かく確認した結果、間違いのないことが報告された。  
議長が平成 20 年度事業・決算報告について議場に諮ったところ、満場異議なく承認可決した。

(6) 常設委員会・部会・ワーキンググループ報告

各委員長または担当者により昨年度活動報告および今年度活動計画について説明があった。

(7) 平成 21 年度事業・予算について

山田代表理事より、平成 21 年度の事業計画および予算について説明があった。今年度学術集会の収支は予算額が不明確なため、現時点では計上されていないことが説明された。  
議長が平成 21 年度事業計画・予算について議場に諮ったところ、満場異議なく承認可決した。

(8) 3 学会合併による解散決議について

山田代表理事より、3 学会合併について以下の報告および説明あった。

- 新学会の名称について
  - 「日本プライマリ・ケア連合学会」として新学会をスタートさせ、新学会設立後に名称検討委員会（仮称）を設置し、継続的に学会名について審議していく予定。
- 法人格について
  - 新学会は一般社団法人としてスタートし、その後に公益社団法人を目指す。
- 残余財産の処分について
  - 現段階では、残余財産を引き継ぐことが出来ないため、合法的に新学会に帰属させることが可能かについて引き続き検討。
- 役員の選出方法について
  - 直接選挙、間接選挙（地域ブロックで選出された代議員（仮称）から選出する理事）および推薦理事の三種類とする予定ですが、新学会設立後に選挙制度検討委員会（仮称）を設置し審議する予定。
- 新学会設立当初の理事について
  - 各学会の現理事が新学会設立当初の役員に就任し、新学会の枠組みを決めていく予定。
- 会員の移行について
  - 今年度（平成 21 年度）分まで納入済みの会員を日本家庭医療学会から移行する会

員として登録。

- 専門医の名称について
  - 「家庭医療専門医（通称：家庭医）」および「病院総合診療専門医（通称：病院総合医）」とすることで合意を得た。
- 各事業について
  - 原則的に、後期研修プログラム認定関連、ワークショップやセミナーの開催など各学会で行っている事業は、新学会発足後も継続して行う予定。
  - 新学会設立後の各学会の認定に関わる経過措置については、三学会合同の「専門医・認定医経過措置検討委員会」にて審議。
- 委員会、各部会（学生・研修医部会、若手家庭医部会）、ワーキンググループの在り方について
  - 各学会の活動が継続できるよう三学会合同の「委員会・WG 検討委員会」にて審議。

会員の木村氏より合併後の会員数について質問があり、山田代表理事より現時点ではまだ詳細な会員数は不明であることが述べられた。

つづいて会員の竹中氏より合併後の名称について、市民からアイデアを募集してほしいとの要望、および合併により事務局の質が落ちないようにお願いしたいとの要望が出され、山田代表理事より名称および事務局に関する三学会合同会議での協議内容が説明された。議長が本法人を解散することについて議場に諮ったところ、満場異議なく承認可決した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成 年 月 日

議 長	印
議事録署名人	印
同	印